

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月12日
【四半期会計期間】	第37期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ナガセ
【英訳名】	Nagase Brothers Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 永瀬 昭幸
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市吉祥寺南町一丁目29番2号
【電話番号】	0422(45)7011(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 重清 安雄
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市吉祥寺南町一丁目29番2号
【電話番号】	0422(45)7011(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 重清 安雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第1四半期連結 累計期間	第37期 第1四半期連結 累計期間	第36期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
営業収益(千円)	6,675,213	6,988,406	36,499,011
経常利益又は経常損失() (千円)	1,707,227	1,340,089	1,440,079
四半期(当期)純損失() (千円)	1,608,673	995,307	491,116
四半期包括利益又は包括利益(千円)	1,646,688	1,020,802	464,137
純資産額(千円)	6,651,156	6,414,737	7,819,259
総資産額(千円)	32,315,983	30,866,189	34,481,270
1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	167.73	103.88	51.24
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	20.4	20.8	22.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在調整株式が存在しないため記載しておりません。
3. 営業収益には、消費税等は含んでおりません。
4. 第36期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

文中の将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災及び福島原発事故の影響により、生産量、輸出量とも減少する大変厳しい状況で始まりました。6月には一部に回復の動きが見られたものの、電力の供給不足、放射能汚染や風評被害などの問題は未だ解決の糸口が見えないなか、国際情勢においても、依然として続く円高や、米欧諸国の財政危機の影響などの懸念材料が山積し、先行きが不透明な状況にあります。個人消費の面でも、雇用環境、所得環境は好転せず、停滞が続いています。

このような厳しい経済状況下ではありますが、当業界においては、教育に対する国民の関心が高く、民間教育に対する期待も大きくなっています。その一方で、生徒、父母が求める教育サービスの水準は高まり、それを提供する教育機関に対する選別が進められており、教育業界の競争は激しさを増しております。

こうしたなか、当社グループでは、主要部門である高校生部門（東進ハイスクール、東進衛星予備校等）、小・中学生部門（四谷大塚、東進スクール等）、スイミングスクール部門（イトマンスイミングスクール）を中心に、「社会に貢献する人財の育成」を教育理念として、提供するコンテンツの充実や受講環境整備など、「知育、体育、徳育」を総合的に行える体制を一貫して構築してまいりました。この成果は、高校生部門で今年も難関大学の合格実績が伸長するなど結実しており、確実に学力を伸ばす教育機関として高い評価をいただいております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下となりました。

新年度は、高校生部門を中心に生徒数が順調に増加、先行指標となる夏期講座の動員についても増勢が続いています。これを受け、営業収益は概ね期初予定に沿って推移し、対前年同期で313百万円の増加となる6,988百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

一方、費用面では、昨年10月より開講した「東進こども英語塾」の運営経費などの増加要因はあったものの、各部門において業務改善、効率化に取り組み、経費圧縮を進めました。これにより、売上が増加している中で、費用全体では8,256百万円と、対前年同期で44百万円減少させることができました。

この結果、営業損失は対前年同期で357百万円改善となる1,268百万円、経常損失は対前年同期で367百万円改善となる1,340百万円となり、四半期純損失は対前年同期で613百万円改善し、995百万円となりました。

なお、当社グループでは、営業収益の計上が生徒募集期にあたる第3、第4四半期に集中し、第1四半期から第2四半期にかけては、費用計上が先行する傾向があります。

(セグメント別の状況)

当第1四半期連結累計期間における各セグメントごとの業績は次のとおりです。なお、セグメント利益（または損失）は四半期連結損益計算書の営業損失に調整額を加えたものです。

高校生部門

当部門は、東進ハイスクール、東進衛星予備校等で、主に高校生を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は3,399百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は189百万円（対前年同期503百万円の改善）となりました。

小・中学生部門

当部門は、四谷大塚、東進スクール、東進育英舎、東進四国等で、主に小学生、中学生を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,603百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント損失は314百万円（対前年同期35百万円の改善）となりました。

スイミングスクール部門

当部門は、イトマンスイミングスクールとして、主に水泳教室、フィットネスクラブの運営を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1,485百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント損失は47百万円（対前年同期55百万円の減少）となりました。

ビジネススクール部門

当部門は、東進ビジネススクール等で、主に大学生、社会人を対象とした教育事業を行っております。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は120百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント損失は67百万円（対前年同期33百万円の減少）となりました。

その他部門

その他部門は、出版事業部門、PCスクール部門のほか、新規事業であるこども英語塾部門、国際事業部門を含んでおります。当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は633百万円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失は59百万円（対前年同期39百万円の減少）となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

（3）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,000,000
計	37,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,148,409	10,148,409	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	10,148,409	10,148,409	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	10,148,409	-	2,138,138	-	534,534

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 567,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,529,000	9,529	-
単元未満株式	普通株式 52,409	-	-
発行済株式総数	10,148,409	-	-
総株主の議決権	-	9,529	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ナガセ	東京都武蔵野市吉祥寺南町一丁目29番2号	567,000	-	567,000	5.59
計	-	567,000	-	567,000	5.59

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,447,333	4,415,396
受取手形及び売掛金	2,186,784	1,201,823
商品及び製品	407,933	536,279
その他のたな卸資産	186,120	217,465
前払費用	1,099,724	1,177,318
繰延税金資産	364,895	827,082
その他	653,178	694,855
貸倒引当金	98,842	93,174
流動資産合計	12,247,128	8,977,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,074,210	5,309,703
工具、器具及び備品(純額)	716,619	670,729
土地	3,462,757	3,462,757
建設仮勘定	709,280	371,830
その他(純額)	136,612	204,219
有形固定資産合計	10,099,480	10,019,241
無形固定資産		
のれん	1,248,939	1,020,495
その他	2,530,852	2,484,240
無形固定資産合計	3,779,792	3,504,735
投資その他の資産		
投資有価証券	1,688,306	1,743,535
長期貸付金	157,171	124,465
長期前払費用	732,622	703,737
敷金及び保証金	4,446,071	4,453,081
繰延税金資産	980,022	989,575
その他	438,322	437,437
貸倒引当金	87,648	86,665
投資その他の資産合計	8,354,869	8,365,167
固定資産合計	22,234,142	21,889,144
資産合計	34,481,270	30,866,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,255	429,089
短期借入金	5,320,124	4,689,313
未払金	2,189,638	2,099,410
未払法人税等	677,366	84,339
前受金	2,342,493	2,946,540
賞与引当金	434,201	728,621
役員賞与引当金	35,411	8,852
返品調整引当金	30,706	30,505
預り金	2,213,938	730,831
その他	890,380	879,290
流動負債合計	14,598,516	12,626,795
固定負債		
社債	1,600,000	1,600,000
長期借入金	7,162,167	6,973,317
退職給付引当金	1,369,186	1,332,151
役員退職慰労引当金	636,193	644,175
資産除去債務	908,760	920,251
その他	387,186	354,762
固定負債合計	12,063,494	11,824,656
負債合計	26,662,010	24,451,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,138,138	2,138,138
資本剰余金	2,141,151	2,141,151
利益剰余金	5,002,112	3,623,556
自己株式	1,287,682	1,288,154
株主資本合計	7,993,720	6,614,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171,773	195,029
為替換算調整勘定	2,687	4,925
その他の包括利益累計額合計	174,461	199,955
純資産合計	7,819,259	6,414,737
負債純資産合計	34,481,270	30,866,189

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	6,675,213	6,988,406
営業原価	5,859,520	5,991,950
営業総利益	815,693	996,455
販売費及び一般管理費	2,441,729	2,264,582
営業損失()	1,626,035	1,268,126
営業外収益		
受取利息	7,268	5,583
受取配当金	36,037	37,118
受取賃貸料	23,839	5,857
その他	12,497	22,164
営業外収益合計	79,642	70,723
営業外費用		
支払利息	59,665	61,268
コンサルティング費用	60,000	-
その他	41,169	81,418
営業外費用合計	160,834	142,686
経常損失()	1,707,227	1,340,089
特別利益		
投資有価証券売却益	47	-
貸倒引当金戻入額	10,198	-
固定資産売却益	335	-
特別利益合計	10,581	-
特別損失		
固定資産処分損	1,409	11,980
投資有価証券売却損	146	-
投資有価証券評価損	128,912	19,999
減損損失	-	9,687
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	524,758	-
特別損失合計	655,227	41,668
税金等調整前四半期純損失()	2,351,873	1,381,758
法人税、住民税及び事業税	181,553	69,861
法人税等調整額	961,125	456,311
法人税等合計	779,572	386,450
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,572,301	995,307
少数株主利益	36,371	-
四半期純損失()	1,608,673	995,307

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,572,301	995,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,874	23,256
為替換算調整勘定	17,512	2,238
その他の包括利益合計	74,386	25,494
四半期包括利益	1,646,688	1,020,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,683,059	1,020,802
少数株主に係る四半期包括利益	36,371	-

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	500,926千円	526,409千円
のれんの償却額	250,528千円	228,444千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	767,804	80	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	383,247	40	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	高校生 部	小・中学生 部門	スイミング スクール 部門	ビジネス スクール 部門	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,029,818	1,590,300	1,451,854	112,649	6,184,622	490,591	6,675,213	-	6,675,213
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	54,268	500	-	2,100	56,868	128,316	185,185	185,185	-
計	3,084,086	1,590,800	1,451,854	114,749	6,241,491	618,907	6,860,398	185,185	6,675,213
セグメント利益 又は損失()	314,116	349,967	7,768	33,649	689,964	19,882	709,847	916,188	1,626,035

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 916,188千円には、セグメント間取引消去18,902千円、のれん償却額 250,528千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 684,562千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	高校生 部	小・中学生 部門	スイミング スクール 部門	ビジネス スクール 部門	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,275,411	1,590,836	1,485,028	120,610	6,471,887	516,518	6,988,406	-	6,988,406
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	123,741	12,881	-	-	136,623	117,056	253,679	253,679	-
計	3,399,152	1,603,718	1,485,028	120,610	6,608,510	633,575	7,242,086	253,679	6,988,406
セグメント利益 又は損失()	189,814	314,865	47,363	67,447	239,862	59,453	299,315	968,810	1,268,126

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 968,810千円には、セグメント間取引消去1,600千円、のれん償却額 228,444千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 741,966千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額 (算定上の基礎)	167円73銭	103円88銭
四半期純損失金額(千円)	1,608,673	995,307
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	1,608,673	995,307
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,590	9,581

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が

存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(重要な資産の取得)

当社は、平成23年7月20日開催の取締役会において、以下の土地の取得を決議し、売買契約を締結し、同21日付で取得いたしました。

(1) 目的

当社の研修施設等用地として取得

(2) 取得資産の内容

取得地 東京都練馬区

取得資産 土地 660.91㎡

取得価額 340,000千円

資金調達方法 自己資金

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月12日

株式会社ナガセ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小野 信行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小野原徳郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナガセの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナガセ及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。